

緊急アピール

子どもたちに平和な未来を手渡すために

「安保法案」に反対します

今、国会では「安保法案（安全保障法制 11 法案）」が審議され、採決されようとしています。この法案は、元最高裁長官や大多数の憲法学者が違憲であると指摘しているように、日本国憲法から逸脱した集団的自衛権の行使を骨格にしたものであり、他国の戦争に加担していくことを可能にするものです。このままでは、2015年5月29日の緊急アピールに示したように、自衛隊員が他国の戦争に参加し、他国の人の命を奪い、また命を失う危険性が生まれてきます。この日本の未来を大きく変えてしまう重大な法案を、安倍政権は立憲主義と民主主義のルールを無視して通そうとしています。

この夏、わたしたちは戦後 70 年を迎えました。それは、日本国憲法に定められた通り、再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、恒久の平和を念願し、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、戦争を放棄してきたからです。

今、日本のあちこちで、これまでのように限られたおとなだけでなく、20 代の若者をはじめ高校生までもが「戦争反対」の声を上げています。私たちは戦争に荷担することなく、この平和な日々の暮らしを今後もたいせつにして、若者らが、そして、私たちが日々保育している子どもたちが、戦争に巻き込まれることなく、戦後 100 年、戦後 150 年を迎えることができるよう努力したいと思います。

私たちは、この「安保法案」を廃案にすることを強く求めます。

2015年9月13日

全国保育問題研究協議会代表者会議参加者一同